



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月6日

上場会社名 丸一鋼管株式会社 上場取引所 東大
 コード番号 5463 URL <http://www.maruichikokan.co.jp>
 代表者（役職名）取締役社長（氏名）鈴木 博之
 問合せ先責任者（役職名）執行役員経理部長（氏名）河村 康生（TEL）06-6531-1201
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	87,955	△2.8	10,924	△6.5	12,227	△8.7	8,312	103.5
24年3月期第3四半期	90,517	6.5	11,682	△6.1	13,385	△7.4	4,084	△50.0

（注）包括利益 25年3月期第3四半期 7,732百万円（-%） 24年3月期第3四半期△1,760百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	97.79	97.72
24年3月期第3四半期	47.86	47.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	257,971	217,440	81.3
24年3月期	249,225	214,382	83.0

（参考）自己資本 25年3月期第3四半期 209,630百万円 24年3月期 206,948百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	20.00	—	28.50	48.50
25年3月期	—	20.00	—		
25年3月期(予想)				39.50	59.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	117,700	△2.4	15,000	△3.9	17,000	△3.7	9,900	32.8	116.55

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	94,000,000株	24年3月期	94,000,000株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	9,270,530株	24年3月期	8,774,775株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	85,002,032株	24年3月期3Q	85,345,645株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(4) セグメント情報等.....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災の復興需要などのプラス要因はあったものの、欧州の債務問題を契機とした欧米市場の低迷、中国及び新興国経済の減速、円高や電力事情悪化などにより、景気は総じて弱含みで推移しました。

(日本)

国内事業につきましては、当社の主力製品である建築向け鋼管需要は、震災復興需要が本格化せず低調に推移しましたが、自動車向け需要が回復したことから、販売数量は若干の回復が見られました。一方、当社パイプ製品価格は、建築用の需要や、国内・アジアの鉄鋼需要の改善がみられないことなど市況の低迷により下落しました。

以上により国内事業は、売上高は659億2千4百万円（前年同期比5.8%減）、セグメント利益は110億1千6百万円（前年同期比4.6%減）の結果となりました。

(北米)

北米事業につきましては、販売単価は低迷しましたが、販売数量が増加し、売上高は107億6千8百万円（前年同期比11.7%増）と増加いたしました。しかしながら、マルイチ・レビット・パイプ・アンド・チューブLLC（Leavitt社）での減価償却費の負担増などの要因により、セグメント利益は1億1百万円（前年同期比86.3%減）と大幅に減少いたしました。

(アジア)

アジア事業につきましては、第1四半期連結会計期間より、インドの製造子会社であるマルイチ・クマ・スチール・チューブ・プライベート・リミテッド（KUMA社）の重要性が増したため、新たに連結の範囲に含めております。売上高は、ベトナム経済の減速によりマルイチ・サン・スチール・ジョイント・ストック・カンパニー（SUNSCO社）では減少しましたが、KUMA社を連結範囲に含めたことにより、112億6千2百万円（前年同期比3.4%増）と増加しました。しかしながら、SUNSCO社で販売数量が減少したことにより、セグメント損失は1億8千3百万円を計上致しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は879億5千5百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益は109億2千4百万円（前年同期比6.5%減）、経常利益は122億2千7百万円（前年同期比8.7%減）、四半期純利益は83億1千2百万円（前年同期比103.5%増）となりました。

尚、対米ドル換算レートは1米ドル79円37銭であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,579億7千1百万円（前連結会計年度比87億4千6百万円の増加）となりました。

主な内容は、流動資産については、有価証券が52億3千7百万円減少しましたが、現金及び預金が19億2千3百万円増加したことにより、流動資産合計で67億6千7百万円増加しました。固定資産については、投資有価証券が13億3千7百万円減少しましたが、有形固定資産が36億1千8百万円増加したことにより、固定資産合計で19億7千8百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は405億3千万円（前連結会計年度比56億8千7百万円の増加）となりました。

主な内容は、流動負債については、支払手形及び買掛金が23億8千3百万円増加しましたが、未払法人税等が33億4千万円減少したことなどにより、流動負債合計で5億8千4百万円減少しました。固定負債については、主として長期借入金が40億3百万円増加したことにより、固定負債合計で62億7千2百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,174億4千万円（前連結会計年度比30億5千8百万円の増加）となりました。

主な内容は、自己株式が7億5千3百万円増加（純資産の減少）し、その他有価証券評価差額金が6億3千7百万円減少しましたが、利益剰余金が42億5千5百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月7日に業績予想を修正いたしました。予想を上回るコスト削減や、株価の回復に伴う投資有価証券評価損の戻入益などにより、業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、本日開示しております「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

セグメント別の今後の見通しについては、以下のとおりです。

(日本)

国内事業につきましては、需要面では、緊急経済対策や円高是正などにより好転が期待されます。価格面では、建材製品価格の陥没状態の是正を目的に3月に値上げを予定しており、今後、継続して製品価格の改善に努めてまいります。

一方、生産面では効率化をはかるため東京工場の東京第二工場への集約計画も今年末完成の予定で進めております。また、電力不足・値上げへの対応策として太陽光発電事業への参画に取り組んでおります。

(北米)

北米事業につきましては、米国Leavitt社においてはAPIパイプ及び自動車用小径管設備の増強などにより新規需要の開拓に努め、新規設備投資による償却負担増をカバーして収益面の改善に努めてまいります。

一方メキシコの新規自動車用パイプ事業（MARUICHIMEX社）においては、1月に工場がほぼ完成し、試運転を開始致しました。

(アジア)

アジア事業につきましては、ベトナムSUNSCO社では、鉄鋼価格の回復及び円高是正による採算の改善が期待され、APIラインパイプの輸出拡大などにより販売数量の増加に努めてまいります。また、生産面では、今年稼働する予定のNO2 CGLとNO2 CCLの新規製造設備により生産能力の拡大と更なる品質の向上を図ってまいります。

インドKUMA社では、自動車用ステンレス鋼管のシェア拡大に努め、収益の拡大を図ってまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	57,982	69,906
受取手形及び売掛金	29,896	29,549
有価証券	13,038	7,800
製品	7,423	8,027
原材料及び貯蔵品	13,429	12,335
その他	3,554	4,465
貸倒引当金	△232	△225
流動資産合計	125,091	131,859
固定資産		
有形固定資産		
土地	29,915	30,273
その他	34,967	38,228
有形固定資産合計	64,883	68,501
無形固定資産		
のれん	149	122
その他	1,582	1,361
無形固定資産合計	1,731	1,483
投資その他の資産		
投資有価証券	52,843	51,506
その他	4,724	4,655
貸倒引当金	△48	△34
投資その他の資産合計	57,519	56,126
固定資産合計	124,133	126,111
資産合計	249,225	257,971

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,729	14,112
短期借入金	5,661	5,217
未払法人税等	4,380	1,040
賞与引当金	833	461
役員賞与引当金	66	60
その他	3,633	4,827
流動負債合計	26,304	25,720
固定負債		
長期借入金	4,394	8,398
退職給付引当金	3,020	3,097
役員退職慰労引当金	37	44
繰延税金負債	467	522
その他	617	2,746
固定負債合計	8,538	14,810
負債合計	34,843	40,530
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,595	9,595
資本剰余金	15,821	15,821
利益剰余金	205,332	209,587
自己株式	△19,750	△20,504
株主資本合計	210,998	214,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,514	2,877
為替換算調整勘定	△7,565	△7,747
その他の包括利益累計額合計	△4,050	△4,870
新株予約権	91	102
少数株主持分	7,342	7,708
純資産合計	214,382	217,440
負債純資産合計	249,225	257,971

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	90,517	87,955
売上原価	70,673	68,988
売上総利益	19,844	18,967
販売費及び一般管理費	8,161	8,043
営業利益	11,682	10,924
営業外収益		
受取利息	150	118
受取配当金	1,207	791
持分法による投資利益	543	353
匿名組合投資利益	42	—
その他	721	498
営業外収益合計	2,664	1,761
営業外費用		
支払利息	131	105
為替差損	424	40
不動産賃貸費用	210	191
その他	195	120
営業外費用合計	961	458
経常利益	13,385	12,227
特別利益		
固定資産売却益	2	3
投資有価証券売却益	59	331
関係会社株式売却益	439	—
収用補償金	—	818
匿名組合清算益	482	—
その他	38	—
特別利益合計	1,023	1,153
特別損失		
固定資産除却損	31	48
投資有価証券売却損	—	179
投資有価証券評価損	3,793	14
その他	31	4
特別損失合計	3,856	247
税金等調整前四半期純利益	10,551	13,133
法人税等	6,234	4,837
少数株主損益調整前四半期純利益	4,316	8,295
少数株主利益又は少数株主損失(△)	232	△16
四半期純利益	4,084	8,312

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,316	8,295
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,984	△367
為替換算調整勘定	△1,213	△18
持分法適用会社に対する持分相当額	△879	△177
その他の包括利益合計	△6,077	△563
四半期包括利益	△1,760	7,732
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,632	7,753
少数株主に係る四半期包括利益	△127	△21

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	69,982	9,638	10,896	90,517	—	90,517
セグメント間の 内部売上高又は振替高	81	—	—	81	△81	—
計	70,064	9,638	10,896	90,599	△81	90,517
セグメント利益又は損失(△)	11,552	742	△608	11,686	△3	11,682

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	65,924	10,768	11,262	87,955	—	87,955
セグメント間の 内部売上高又は振替高	226	—	—	226	△226	—
計	66,150	10,768	11,262	88,182	△226	87,955
セグメント利益又は損失(△)	11,016	101	△183	10,934	△10	10,924

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△10百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 第1四半期連結会計期間において、マルイチ・クマ・スチール・チューブ・プライベート・リミテッドを連結の範囲に含めたため、アジア事業における資産の金額が著しく増加しております。この結果、当該増加額を含めた、第3四半期連結会計期間末のアジア事業の資産残高は、18,127百万円(前連結会計年度末14,271百万円)であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。